



佐藤 穂佳 ちゃん
「にいにもおむすびも
だあいすき♡」
(栃谷)



武井 ようた くん
「パパ・ママ大好き♡」
(桜木町)



小池 のどか ちゃん
「アンパンマン大好き！」
(日野田町)



坂本 れお くん
「じいじ・ばあば
だいすき♡」
(山田)



応募方法

1～1歳半程度のお子さんの写真を同封し（メールの場合は、500KB以上の画像を添付）、住所・保護者の方のお名前・電話番号・お子さんのお名前（ふりがな）・性別・生年月日を明記の上、秘書広報課（☐hisyo@city.chichibu.lg.jp）までご応募ください。（件名に必ず「わが家のアイドル」とお願いします）抽選に漏れた方も、2歳になる月まで再抽選します。

夢をかなえる 未来にはばたく

秩父地域の高校

学校全体で「桜の美の山復活ハイキング」に協力
(秩父農工科学高校)



10月31日(土)に秩父環境管理事務所・秩父鉄道(株)主催「桜の美の山復活ハイキング」が開催され、秩父農工科学高校はイベントの協力を行いました。

桜の植樹の補助や記念碑の作製（森林科学科）、いちごジャムのプレゼント（食品化学科）、農業科提供の野菜で豚汁の調理（フードデザイン科）、記念写真撮影看板の製作（電気システム科）、樹名板製作（機械システム科）、箸袋の製作（ライフデザイン科）のほか、秩父屋台囃子の演奏（秩父屋台囃子保存部）など全科に渡ります。



当日ボランティアで参加した生徒は、「桜を復活させるというイベントに、自分たちが学習していることを役立てることができてとても嬉しい。これからも地域の人たちと積極的にかかわっていきたい。」と語ってくれました。

秩父農工科学高校は学校生活を通して、自分自身を磨き上げ、社会に貢献できる質の高い専門職業人を目指しています。

市民文芸

俳句

竹内 弥太郎 選

日を浴びて先陣の鴨水脈を曳く
救急車日向ぼっここの解散す
隣また空家となりぬ芋茎干す
手入れせし庭木清しや後の月
日暮待てず迎え火焚けり孫と居て
打ち上げる龍勢煙火一揆の地
龍勢の舞うや秩父の里まつり
口上を連れて龍勢秋の天
夫踏みて箕で吹き分ける小豆粒
おしゃべりは生きる力や秋の空

上野町 桜井 照子
上吉田 山口 富江
近戸町 須田 真弓
吉田久長 齋藤 大仙
山田 大島 映子
黒谷 中村 美代
中町 内田 定男
永田町 栗原 昌次
栃谷 竹村 ハク
三峰 千島サマ井

（評）秋になると北国から鴨が飛来して、陣容を整えるが、照子さんの前には早くも先陣が来て、威を張っています。友だちと日向ぼっこをしていた富江さんは一斉に立ちあがり、救急車を通るから解散だと言います。真弓さんは世情を詠って深い思いを、大仙さんは十三夜を美しく迎えようとする心境を、映子さんは仏を迎える思いを表しました。吉田の龍勢祭を詠った三人の作品は、難しい題材に取り組み、それぞれの視点が生かされました。ハクさんの夫婦しての収穫の喜びを、サマ井さんは生きる明るさを表白しました。

※次回1月号は短歌を掲載します

俳句、短歌の応募は、住所・お名前（ふりがな）を明記の上、必ず官製はがきで秘書広報課までお送りください。1通に2句または2首まで、各1通までです。

俳句 12月末締切→2月号に掲載

短歌 1月末締切→3月号に掲載